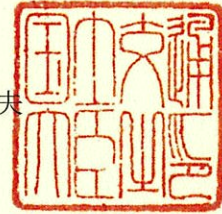


# 認定書

国住参建第 1406 号  
令和 5 年 8 月 28 日

積水化学工業株式会社  
代表取締役社長 加藤 敬太 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-0672-2
2. 認定をした構造方法等の名称  
ケーブル・電線管／両面ポリエチレンテレフタレート不織布張黒鉛含有エポキシ樹脂シート／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

ケーブル・電線管／両面ポリエチレンテレフタレート不織布張黒鉛含有エポキシ樹脂シート／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

## 2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項目		仕様
開口 (アウトレットボックス側)	形状	矩形(190×92mm以下)
	面積	0.01748m <sup>2</sup> 以下
占積率 (電線管の開口面積(内径)に対するケーブル断面積の総合計の割合)		41.7%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張/軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定 耐火構造：FP060NP-0007、FP060NP-0049、FP060NP-0075-1、FP060NP-0185-1、FP060NP-0189、FP060NP-0192-1、FP060NP-0233、FP060NP-0250-1、FP060NP-0258、FP060NP-0294-1、FP060NP-0345-1、FP060NP-0360-2、FP060NP-0399(1)、FP060NP-0399(2)、FP060NP-0427-1(1)、FP060NP-0427-1(2)、FP060NP-0441(1)、FP060NP-0441(2)、FP060NP-0454-1、FP060NP-0485、FP060NP-0487) 厚さ 42mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、ケーブル・電線管の構成材料を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様		
熱膨張性 シート1	材料	両面ポリエチレンテレフタレート不織布張黒鉛含有エポキシ樹脂シート		
	使用箇所	アウトレットボックス内		
	寸法	大きさ：①又は② ①アウトレットボックス高さが102mmを超える場合 106(+3,-0)×47(+3,-0)mm以上(1枚あたり) ②アウトレットボックス高さが102mm以下の場合 86(+3,-0)×43(+3,-0)mm以上(1枚あたり) 製品厚さ：5.2(±0.6)mm以上(複層構成)		
	形状	シート状(切れ込み：あり(厚さの全部又は一部)又はなし)		
	使用枚数	アウトレットボックス幅について 47mmを超え 90mm以下の場合：1枚 90mmを超え140mm以下の場合：2枚 140mmを超え190mm以下の場合：3枚 190mmを超え240mm以下の場合：4枚		
	基材	材料	ポリエチレンテレフタレート不織布	
		厚さ	0.18(±0.06)mm(1層あたり)	
	シート	材料	黒鉛含有エポキシ樹脂シート	
		厚さ	2.19(±0.18)mm以上(1層あたり)	
	組成 (質量%)	組成は企業秘密とさせていただきます。		
	粘着材	材料	アクリル樹脂	
		厚さ	0.05(±0.005)mm(1層あたり)	
	熱膨張性 シート2	材料	黒鉛含有ブチルゴムシート(離型紙：あり又はなし)	
使用箇所		塗代カバーと壁の接触部		
寸法		製品厚さ：離型紙ありの場合 4.70(±0.5)mm以上 離型紙なしの場合 4.54(±0.48)mm以上 幅：15mm以上		
離型紙 (裏面紙)		材料	紙	
		厚さ	0.16(±0.02)mm	
シート		材料	黒鉛含有ブチルゴム	
		厚さ	4.54(±0.48)mm以上	
組成 (質量%)		組成は企業秘密とさせていただきます。		
アウトレットボックス		材料	鋼製又は鋳鉄製	
	寸法	大きさ：228(±4)×117(±4)×54(±4)mm以下(1~4孔仕様) 厚さ：1.6mm以上		

表3 ケーブル・電線管の仕様

項目	仕様			
ケーブル (電線)	導体(又は芯線) の断面積	1本あたり 総合計	22mm <sup>2</sup> 以下 50.9mm <sup>2</sup> 以下(銅等の金属類)	
	総有機量	0.41kg/m以下		
	導体(又は芯線) の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質		
	絶縁体	ポリエチレン系	厚さ	1.9mm以下
		塩化ビニル系		
		ポリオレフィン系		
		ゴム系		
介在 (円形に調整する 充てん材)	紙、ジュート、又はポリプロピレン			
シース	ポリエチレン系	厚さ	1.5mm以下	
	塩化ビニル系			
	ポリオレフィン系			
	ゴム系			
電線管	材料	合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411)		
	種類	CD管又はPF管		
	寸法	φ30.5mm以下(呼び22以下)		
端部附属品	材料	合成樹脂製可とう電線管用附属品(JIS C 8412)		
	種類	コネクタ(ABS系樹脂製)		
	寸法	呼び22以下		

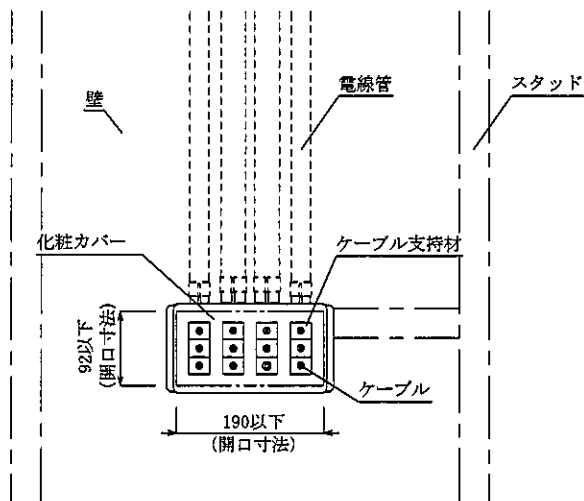
4. 副構成材料の仕様：  
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目	仕様	
塗代カバー	材料	鋼製又は鋳鉄製
	寸法	大きさ：231(±4)×120(±4)mm以下(ケーブル支持材取付枠4個用以下) 厚さ：1.6mm以上
ケーブル支持材	材料	ABS系樹脂
	寸法	44×23mm以下
	個数	12個以下(ただしケーブル支持材取付枠1個あたり3個以下)
ケーブル支持材取付枠	材料	鋼製又は鋳鉄製
	厚さ	1.4mm以上
	個数	4個以下
化粧カバー	材料	①又は② ①ABS系樹脂 ②ステンレス鋼製
	寸法	大きさ：208×120mm以下(ケーブル支持材取付枠4個用以下) 厚さ：2.0mm以下
ボックス固定金具	材料	鋼製又は鋳鉄製
	厚さ	0.8mm以上
留付材	材料	ねじ及びタッピンねじ 材質：軟鋼線材
	用途	①～④ ①アウトレットボックス留付用 ②ケーブル支持材取付枠留付用 ③塗代カバー留付用 ④化粧カバー留付用
	寸法	①～④ ①φ3.8×長さ8mm以上 ②φ3.8×長さ50mm以上 ③φ3.8×長さ10mm以上 ④φ3.3×長さ5mm以上

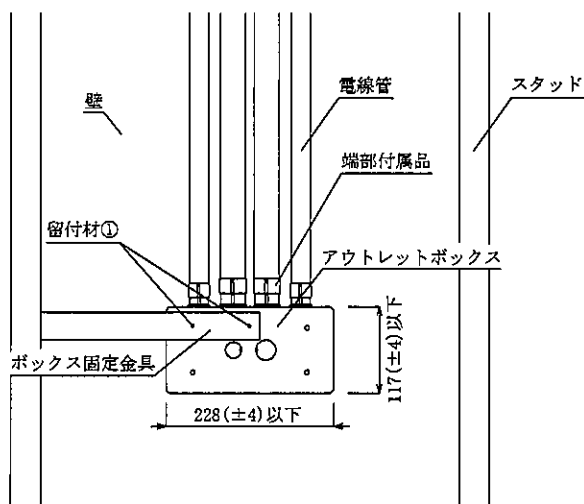
5. 構造説明図：  
 構造説明図を図1～図6に示す。

単位 mm



アウトレットボックス正面図

(アウトレットボックスの上部に貫通部材を設置)

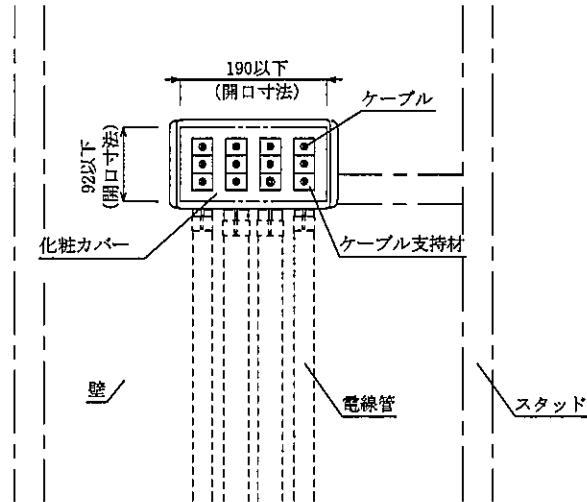


アウトレットボックス背面図

(アウトレットボックスの上部に貫通部材を設置)

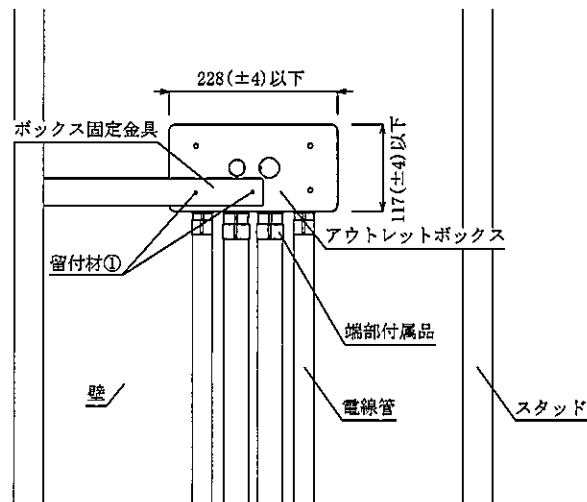
図1 構造説明図(施工図)

単位 mm



### アウトレットボックス正面図

(アウトレットボックスの下部に貫通部材を設置)

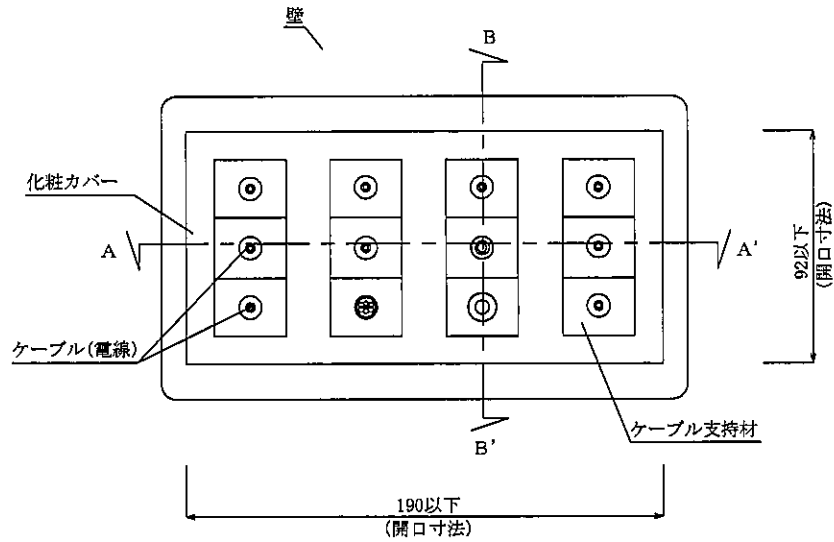


### アウトレットボックス背面図

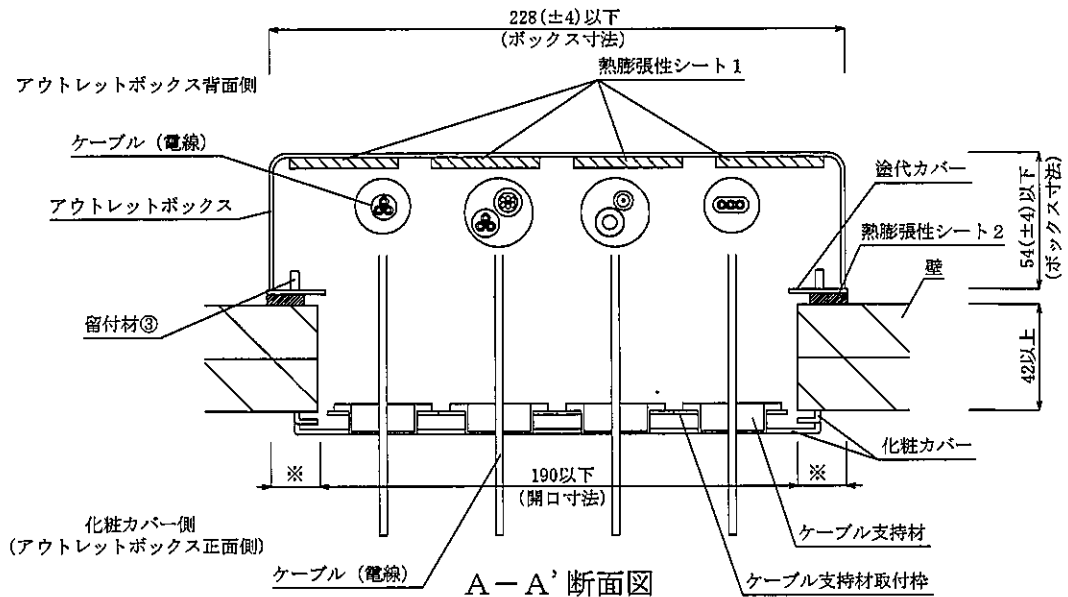
(アウトレットボックスの下部に貫通部材を設置)

図2 構造説明図(施工図)

単位 mm



アウトレットボックス正面図

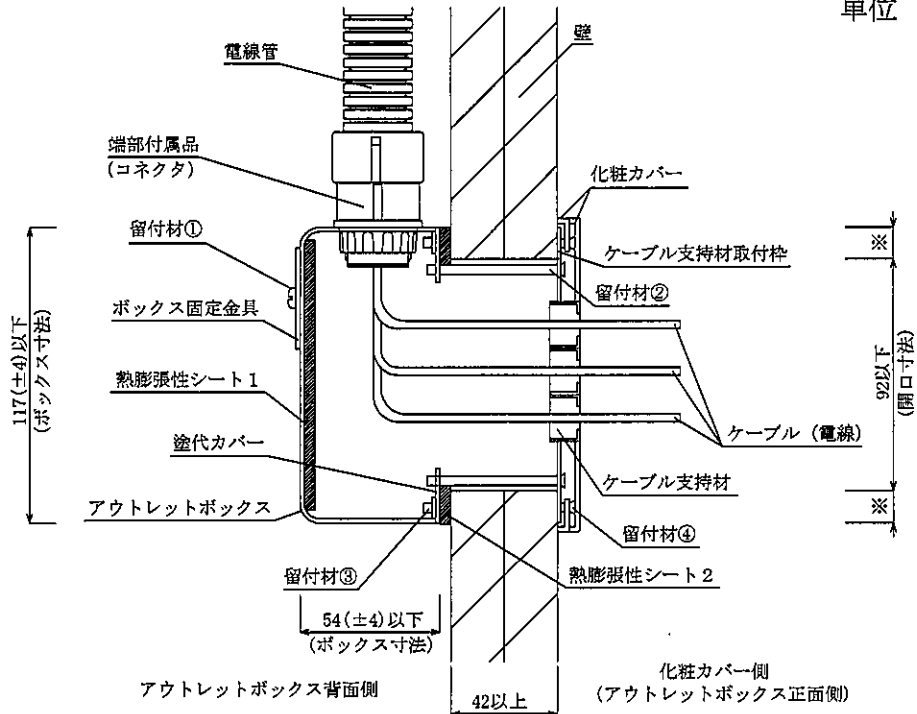


※印: アウトレットボックスのかり代寸法  
 ボックス寸法(高さ×幅)が102×102mmを超える場合: 12.5mm以上  
 ボックス寸法(高さ×幅)が102×102mm以下の場合: 6mm以上

図3 構造説明図(施工図)

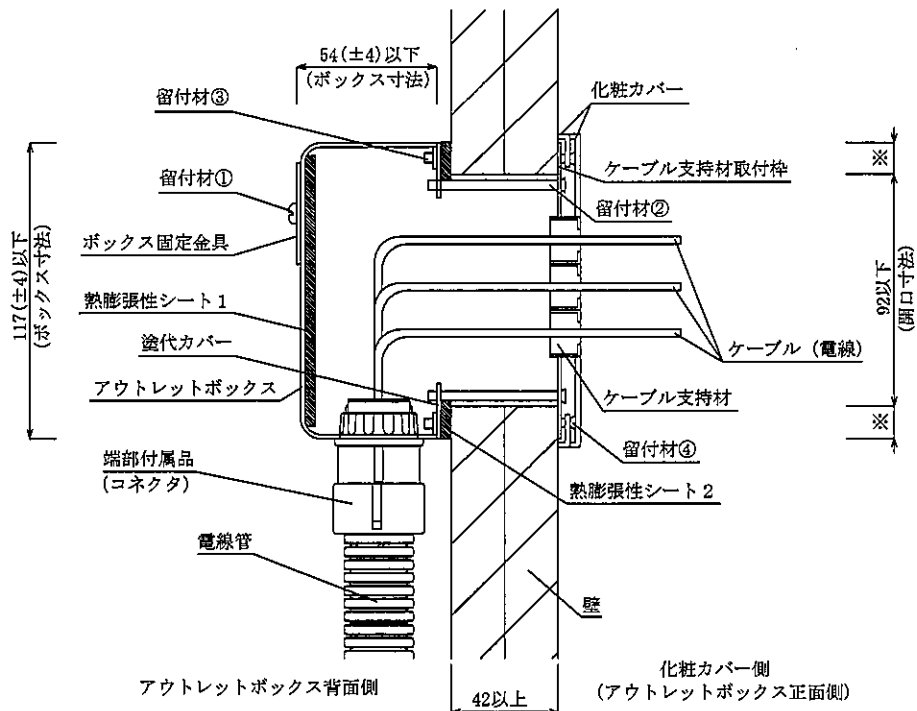


単位 m.m



B-B' 断面図

アウトレットボックスの上部に貫通部材を設置



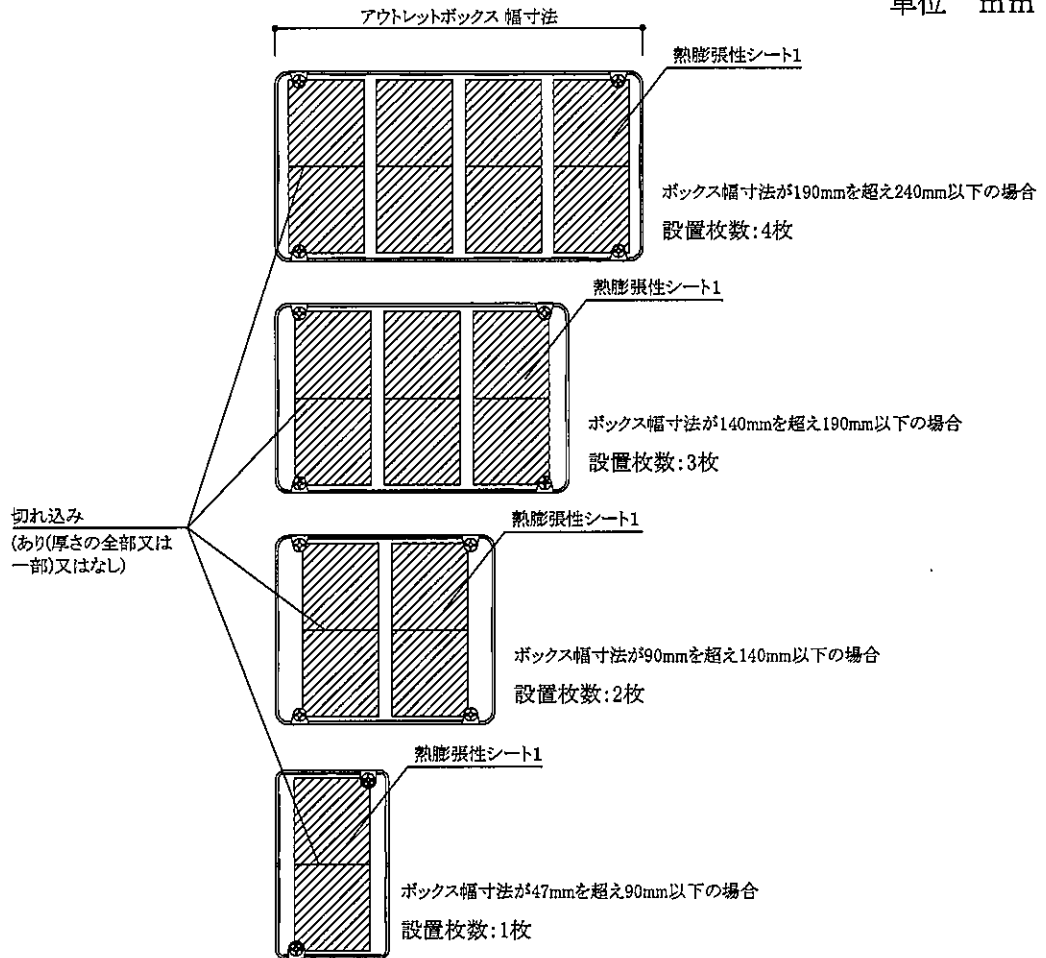
B-B' 断面図

アウトレットボックスの下部に貫通部材を設置

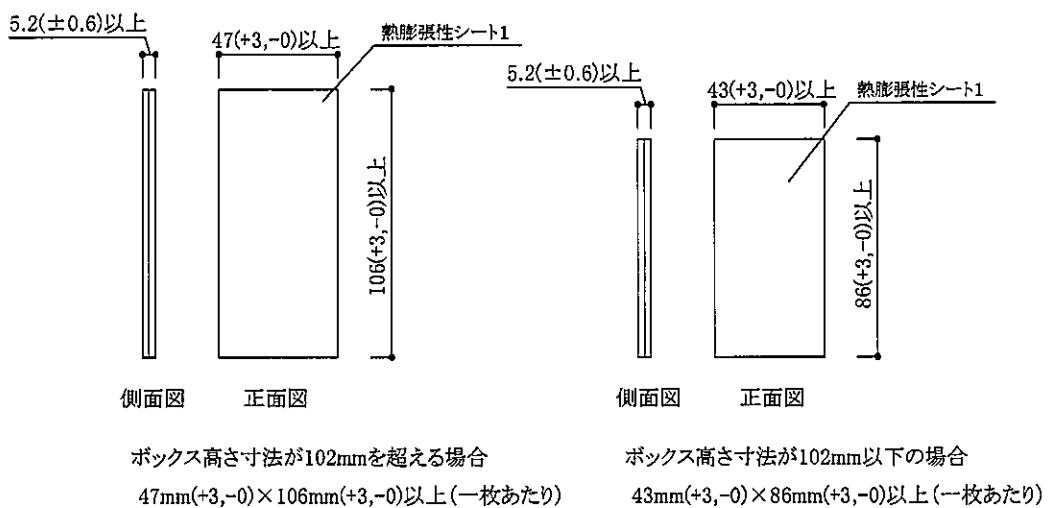
※印: アウトレットボックスのかかり代寸法  
 ボックス寸法(高さ×幅)が102×102mmを超える場合: 12.5mm以上  
 ボックス寸法(高さ×幅)が102×102mm以下の場合: 6mm以上

図4 構造説明図(施工図)

単位 mm



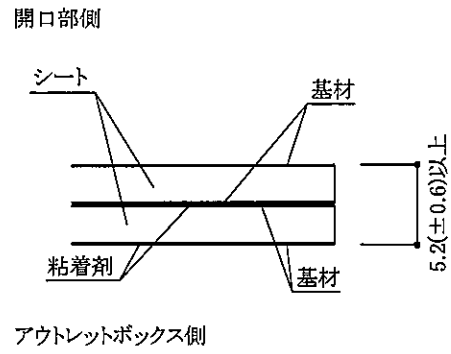
熱膨張性シート1の施工例



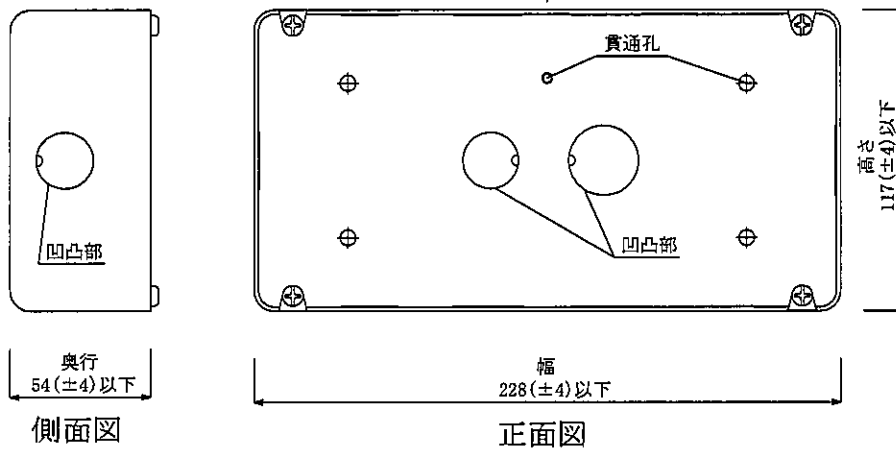
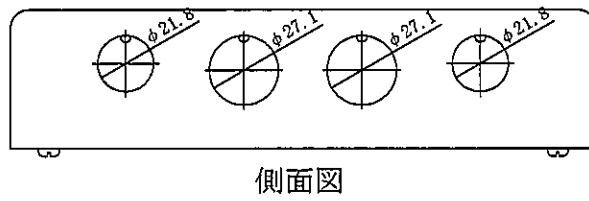
熱膨張性シート1の寸法

図5 構造説明図(施工図)

単位 mm



熱膨張性シート1の詳細図



アウトレットボックスの詳細図(4孔用の一例)

図6 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) ランナー、スタッドが施工されている状態で、スタッドにボックス固定金具を取り付ける。
- (2) ボックス固定金具に、アウトレットボックスを取付け、アウトレットボックス内に必要な枚数・寸法の熱膨張性シート1を設置する。
- (3) 端部付属部品、塗代カバー、合成樹脂製可とう電線管を施工する。
- (4) 塗代カバーの四周に、熱膨張性シート2を貼付ける。
- (5) 強化せっこうボードを取付け、貫通部が適合する穴を開ける。
- (6) ケーブル(電線)を通線する。
- (7) 塗代カバーに取付枠を取り付け、屋内側の仕上げ工事を行う。

注) アウトレットボックスの貫通孔は熱膨張性シート1で閉塞していることを確認すること。